

観音信仰の道として世界遺産登録されている熊野古道、観音道。この道を十丁（約 1.1km）程登ると泊観音（比音山清水寺）と呼ばれるお堂があります。

大同四年（809年）、泊観音は坂上田村麻呂が建立したと伝えられ、観音信仰が普及した江戸時代には近郷近在の人々により篤く信仰されました。信者たちは西国三十三所にちなんで、参詣道の脇に三十三体の観音石像を寄進しました。太平洋戦争のときには、出征兵士の家族が武運長久を祈るために各地から集まり大変な賑わいでした。また麓には、明治の頃まで口観音といわれる観音様が観音別当のお宅に置かれ、泊観音まで参詣できない体の不自由な人々が参りました。



二十八番の観音石像

しかし終戦を境に参詣する人が次第に少なくなり、無住となった泊観音堂は徐々に荒廃が進みました。現在、泊観音（千手観音立像）は麓の清泰寺に大切に安置されています。また信者によって寄進された三十三体の観音石像の数体も、国道工事や木材搬出の際に清泰寺や安全な場所へと移されましたが、今も参詣者を見守っています。そして口観音（千手観音坐像）も観音別当を務めた初代の方から大切に守られ、十三代目にあたる現在の御泊観音（千手観音立像）当主の旧家に安置されています。



案内役は観音道を毎日のように歩いて補修や清掃を行い、石仏に花を捧げている向井弘晏さんです。まず、公開されることのない秘仏、口観音を拝観させていただきます。その後、泊観音堂から清泰寺に移された千手観音立像を拝観し、三十三体の観音石像を巡りながら泊観音堂へと向かいます。観音様に拠り所を求めた先人たちの心にふれることが、この講座の目的です。

#### ■実施日

平成20年4月19日（土）雨天の場合は翌日20日（日）に延期

#### ■集合

8:30 JR紀勢本線大泊駅前（三重県熊野市大泊町）  
（JRご利用の場合：尾鷲・名古屋方面から8:16着、新宮方面から8:25着の列車があります。）  
（自家用車の場合：JR大泊駅前にご駐車下さい。）

#### ■行程

8:30	集合、オリエンテーション
8:40～ 9:00	旧家に伝わる口観音を拝観
9:00～ 9:30	清泰寺にて千手観音を拝観
9:30～10:45	三十三体の観音石像を巡り、観音道を歩行
10:45～11:00	泊観音堂（比音山清水寺）
11:00～11:45	観音道を歩行（来た道を引き返します。）
11:45～12:00	大泊駅前着、ミーティング
12:00ころ	解散（多少時間が前後することがあります。ご了解下さい。）

※（帰りJRご利用の方：尾鷲・名古屋方面行き 13:05 発、新宮方面行き 12:26 発の列車があります。）

#### ■募集人数

8名様（お申し込み多数の場合は、3月16日に抽選で決めさせていただきます。お二人以上で一緒に参加ご希望の場合は、グループで一人として抽選します。）

#### ■お申込締め切り

3月15日（土）必着

#### ■参加費

2,000円  
【ガイド料、傷害・賠償保険代、実施経費の一部（現地調査費、通信費等）】

#### ■持ち物

歩きやすい服装・靴、飲み物

#### ■ガイド

向井 弘晏氏（三重県熊野市大泊町）

#### ■ご注意

この企画は紀南ツアーデザインセンターが地域づくりを目的に「三重・紀南エコツーリズム推進会」の協力を得て作成した学習プログラムです。希望者が自己責任において任意で参加していただきます。万一の事故などに対する補償は、加入する保険の範囲内で行いますので、ご了解の上ご参加ください。

#### ◇お申込み方法（参加申込書はこちら⇒）

同封のお申込み用紙にご記入いただき、ファックス、郵送でお送りいただくか、またはEメールでお申込みください。